

洞爺湖町長選挙

真屋敏春氏当選



職員に迎えられ、初登庁する真屋町長

任 期満了に伴う洞爺湖町長選挙が、4月8日告示され、現町長の真屋敏春氏以外に立候補がなく、再選が決定しました。

真屋町長は「更なる町の発展と町民一人ひとりが幸せを実感できる町づくりを目指し、『未来へつなげる町づくり、人づくり』のため、町民の声をしっかりと聴きながら、開かれた町政に務め、『決断』と『実行』をもつて、元気のある洞爺湖町の実現に向

けて取組んでいく」ことを明らかにし、施策の基本方針として次のことを掲げました。

その内容は、①本町地区生活飲料水の改善②地域防災機能の再整備推進③洞爺湖地区の再整備推進④洞爺湖温泉街の更なる発展⑤農業・漁業・商工業の振興⑥教育施設の耐震化⑦義務教育施設の適正配置計画等の推進⑧人にやさしい健康福祉のまちづくり⑨町内の美化活動の推進⑩定住移住対策の推進⑪まちづくり総合計画を重視したまちづくりの11項目です。

2期目にあたり、真屋町長は「厳しい財政事情によりできなかった事業を何としてでも二期目で達成し、安心・安全に過ごすことの出来る町づくり、賑わいのある町づくりに向けて、強い決意をもって誠心誠意努力したい」と述べました。

観光客へのおもてなし

町内一斉清掃実施

本 格的な観光シーズンを前に、町内の清掃活動が行われ、家の周りや洞爺湖畔、地域の公園などのゴミや空き缶などを拾い、観光客を迎え入れる体制を整えました。

4月20日には、自治会の呼びかけで、町内全域で住民らが午前7時から一斉に清掃活動を行いました。NPO法人洞爺まちづくり観光協会も、午前9時前にとうや水の駅前に集合し、付近の公園やキャンプ場の清掃を実施しました。

4月21日には、のぞみ団地の住民と桜ヶ丘保育所の5、6歳児が、同保育所の周りやのぞみ公園の清掃活動を行い、地域住民との親睦を深めました。



洞爺湖温泉地区



〈本町地区〉



のぞみ団地住民と桜ヶ丘保育所園児



〈洞爺地区〉